



Dai 1 NAIKA News

平成 24 年 10 月 26 日

三重大学病院
総合内科、循環器内科
消化器・肝臓内科、腎臓内科
広報誌【第 8 号】

発行 / 三重大学医学部第一内科
〒514-8507 津市江戸橋2-174
TEL 059-231-5015 FAX 059-231-5201
http://www.medic.mie-u.ac.jp/naika1/index.html

CCUネットワーク支援センターの設立

～急性心筋梗塞診療の新たな展開を目指して～

今年、三重県の急性心筋梗塞診療において2つの大きなプロジェクトが動き始めました。ひとつは地域医療再生計画拡充における急性心筋梗塞分野の事業であり、もうひとつは厚生労働省科学研究費補助金の承認を受けた『過疎地域等における急性心筋梗塞の急性期治療の体制整備に関する研究』です。



谷川 高士
循環器内科 講師
CCU ネットワーク支援センター
副センター長

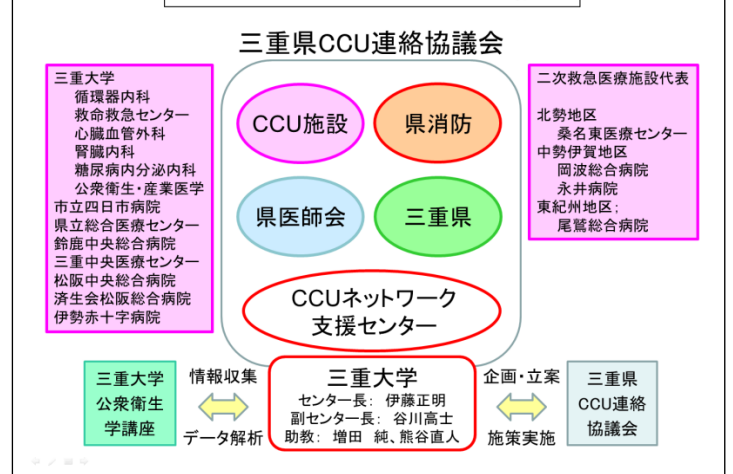
三重県地域医療再生計画は、「心電図伝送システム整備事業」、「急性心筋梗塞回復期リハビリテーション設備整備事業」、「三重県 CCU ネットワーク支援センター設立事業」の3つの事業からなり、2012年4月に三重大学医学部 地域医療研究センター内に「CCU ネットワーク支援センター」が設置されました。

本センターでは、1) 急性心筋梗塞に対し専門施設への患者搬送収容の迅速化、2) 急性期における適切な治療普及・促進、3) 地域救急医療システムの連携強化、4) 患者・家族・医療従事者、さらには一般市民への教育活動の推進を目的とし、三重県 CCU ネットワークにおける事業計画の立案や実施等において中心的役割を担うこととなります。センター

長の伊藤正明先生の下、増田 純先生、熊谷直人先生とともに、急性心筋梗塞のデータ収集を行うためのデータベース作成や基幹病院とのネットワーク構築を進めています。

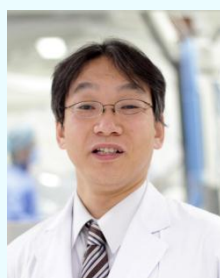
これまで、全県的な急性心筋梗塞の疫学調査は行われておらず、発症率や死亡率に関するデータの収集も不十分な状況です。今後、大学病院を中心に県内の急性心筋梗塞に関するデータを収集し、診療実態を分析することにより、県内の各医療圏における問題点の抽出を行う予定です。特に過疎地域における急性心筋梗塞の救急医療体制について検討し、地域間差の是正に向けた取り組みを進めていく予定です。

三重県CCUネットワークの構築



新病棟医長として

10月より前任の岡本隆二先生より引き継いで、病棟医長に就任しました太田覚史と申します。専門は循環器内科で特に肺循環領域を中心に臨床・研究に携わっておりました。また、今年からは三重県地域医療支援センター専属医師として、三重県の地域医療の充実と研修終了後の若手医師のキャリア支援をさせていただいております。



太田 覚史
地域医療支援センター
講師
(循環器内科)

月曜日再診の外来を担当しています。専門は循環器内科、肺循環・肺高血圧症、静脈血栓塞栓症、肺血栓塞栓症です。

私達が所属する大学病院 10 階北病棟では、一部代謝内分泌内科の病床を除き、循環器・腎臓・総合内科の入院を扱っております。循環器・腎臓分野の先進的な治療を専門的知識をもつ各診療グループにて行うとともに、それぞれの分野の専門家が協力して広い視野のもと、総合内科として内科疾患全般の診療にあたっております。

おかげさまで最近では緊急入院症例の増加もあり病棟はつねに満床状態です。病棟スタッフ一同毎日臨床に研究に忙しい日々を送っております。また、大学病院の責務として三重県のみならず日本の将来を担うであろう多くの研修医や学生の教育にも日夜奔走しております。このような充実しているものの非常に忙しい病棟をお預かりすることにあたり、やりがいを感じるとともに、自分がこれまでお世話になってきた歴代の第一内科病棟医長の先生方を思い返して、はたして自分にこの重責が務まるのか不安にも感じております。他の医師や病棟スタッフに無理を言わなければならないことも多くストレスも多いですが、なんとか少しでも皆の役にたち、充実して臨床・研究・教育に従事してもらえよう努力していくつもりです。本ニュースをご覧の皆さまには、御迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、これまで同様ご指導ご鞭撻頂きますようお願い申し上げます。

ワンポイントレクチャー

睡眠時無呼吸症候群と

循環器疾患に関して

ヒトは人生の3分の1を眠ることに費やしています。現代社会は睡眠を慢性的に犠牲にする生活様式になっており、さまざまな睡眠障害が出現するようになっております。中でも睡眠呼吸障害の代表である睡眠時無呼吸症候群(SAS)が注目を浴びております。欧米における大規模疫学調査の結果から閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)は健康な成人男性の5人に1人が罹患しており、有症状のSASは2~4%に認められると報告されております。

OSASは特に循環器疾患との関連が指摘されており、夜間の繰り返す低酸素血症とその後の酸素化、高二酸化炭素血症、胸腔内圧の変動、短期覚醒などが交感神経活性亢進、血管内皮機能障害、酸化ストレス、炎症、代謝障害などの機序を介して高血圧、心不全、不整脈、虚血性心疾患、脳血管障害を来することが判明しております。このため、高リスク群の患者に対しては積極的なスクリーニングを行い、重症OSAS患者には持続陽圧呼吸(CPAP)マスクでの治療が推奨されます。

また慢性心不全患者は高率にSASを合併することが知られております。特にチェーンストークス呼吸を伴う中枢性睡眠時無呼吸症候群(CSAS)は心不全患者の30~40%に合併し非常に予後が悪いことが報告されております。したがって、慢性心不全患者の治療方針を決定する際にはCSASを治療標的



熊谷 直人
CCU ネットワーク支援センター
助教
(循環器内科)

金曜日初診の外来を担当
しています。専門は循環
器内科、睡眠時無呼吸症
候群(SAS)です。

の1つとして考える必要があります。しかしCPAP治療では十分な無呼吸の抑制が得られないことが多く、近年Adaptive Servo-Ventilation(ASV)という患者の呼吸に同調した陽圧を提供する機器が使用できるようになり、慢性心不全に対する非薬物療法の1つとして注目されております。

当院では昨年より新しいポリソムノグラフィ検査機器を導入し、特に慢性心不全に伴うSASの診断、治療を積極的に行っております。日中の眠気に関わらず、心不全症状でお困りの症例がいらっしゃいましたら、是非ご紹介下さいますようお願い致します。

Pick Up! 新任医師紹介



仲田 智之
救命救急センター
助教

第一内科ニュースをご覧の皆様、はじめまして。この度10月より三重大学医学部附属病院、救命救急センターに着任しました仲田智之と申します。今までは大学病院以外に尾鷲総合病院、山田赤十字病院(現伊勢赤十字病院)、武内病院、市立伊勢総合病院に勤務してまいりました。今回救命救急センター赴任の

命を受け、今までの経験、知識とは別にさらに専門的な知識が必要とされると身が引き締まる思いです。救命救急センターで勤務していると、今更ながら、自分一人の力の無力さと、チーム医療の大切さがどれだけ大切か気付かされます。例えば一人の重症の多発外傷の患者さんを救命するために一体何人の専門分野の医師の知識と、看護師の専門的な看護が必要か。内科的、外科的にかかわらず、それが実現できるのが今の救命救急センターと思います。未熟ですがこれからも切磋琢磨していきますのでよろしく願いいたします。

お知らせ

「第12回三重循環器・腎臓疾患と糖尿病を考える会」

日時：2012年11月15日(木) 19:00~21:00

場所：ベイシスカ

基調講演：「糖尿病患者の無症候性心筋虚血に対する早期介入への取り組み」伊勢赤十字病院 高村武志先生 金児竜太郎先生

特別講演：「糖尿病性腎症の進展抑制・発症予防を目指して」

埼玉医科大学病院病院長

内分泌・糖尿病内科教授 片山茂裕先生

●第一内科外来担当がリニューアルされました。

		月	火	水	木	金
循環器	初診	伊藤 山田	藤田 後藤	岡本 荻原	中村 藤井 渡辺	谷川 熊谷
	再診	谷川 中嶋 太田/土肥 PM外来 杉浦(伸)	杉浦 (英)	谷口	澤井 松田	山田 藤井 土肥
腎臓	初診	藤本	休診	石川	村田	藤本
	再診	石川	休診	休診	休診	村田
消化器・肝臓	初診	山本			白木	
	再診	白木 杉本(和)		山本	杉本(和)	

注) 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療目的で御紹介いただく場合は、可能な限り火曜日と木曜日の不整脈外来(担当：藤田、藤井)に御紹介をよろしくお願い申し上げます。

PM外来=ペースメーカー外来(1,2,3週のみ)

●第一内科ホームページ

<http://www.medic.mie-u.ac.jp/intmed1/>

●ドクターたちのひとりごとブログ「第一内科Café」

<http://ameblo.jp/miedailnai/>

●三重大学病院循環器内科、腎臓内科

~患者様をご紹介ください~

1 FAX 新患予約

「診療予約申込書」(三重大学医学部附属病ホームページ<http://www.hosp.mie-u.ac.jp>の「医療機関の方へ」からダウンロード可)に必要な事項を記入の上、FAX059-231-5541 に送信してください。15分以内に折り返しFAXで診療予約の回答をさせていただきます。

2 緊急受診、ご相談等

下記、循環器内科、腎臓内科救急ホットラインへ直接お電話下さい。病棟主任が直接対応させていただきます。

循環器内科、腎臓内科救急ホットライン

三重大学病院循環器内科、腎臓内科連絡先(直通)
内科外来：059-231-5146 病棟：059-231-5101
FAX：059-231-5518 研究棟：059-231-5015
患者様の紹介、相談にご活用ください。

本機関誌に関するご意見、ご質問は下記メールアドレス、または当科HPまで。
naika1@clin.medic.mie-u.ac.jp

